



WHO健康都市おおふ

愛知県 在宅医療連携拠点事業 中間活動報告

# 幸齢社会の実現をめざして

～誰もが大府で暮らして、幸せを実感できるまち～

## 大府市役所

福祉子ども部 福祉課 高齢者支援室  
健康文化部 健康推進課 健康都市推進室  
企画政策部 企画政策課 ウェルネスバレー推進室



大府市

Welcome to Obu City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」



WHO健康都市おおぶ

# 大府市の概要



大府市長 久野孝保



大府市健康づくり  
マスコットキャラクター  
「おぶちゃん」

面積	33.68km <sup>2</sup>
総人口	88,550人 (H26年4月1日現在)
高齢者数	17,354人(19.6%)
後期高齢者	7,183人(8.1%)
認知症者	2,479人(推定)
人口増減率	6.21% (国勢調査: 22年と17年と比較)



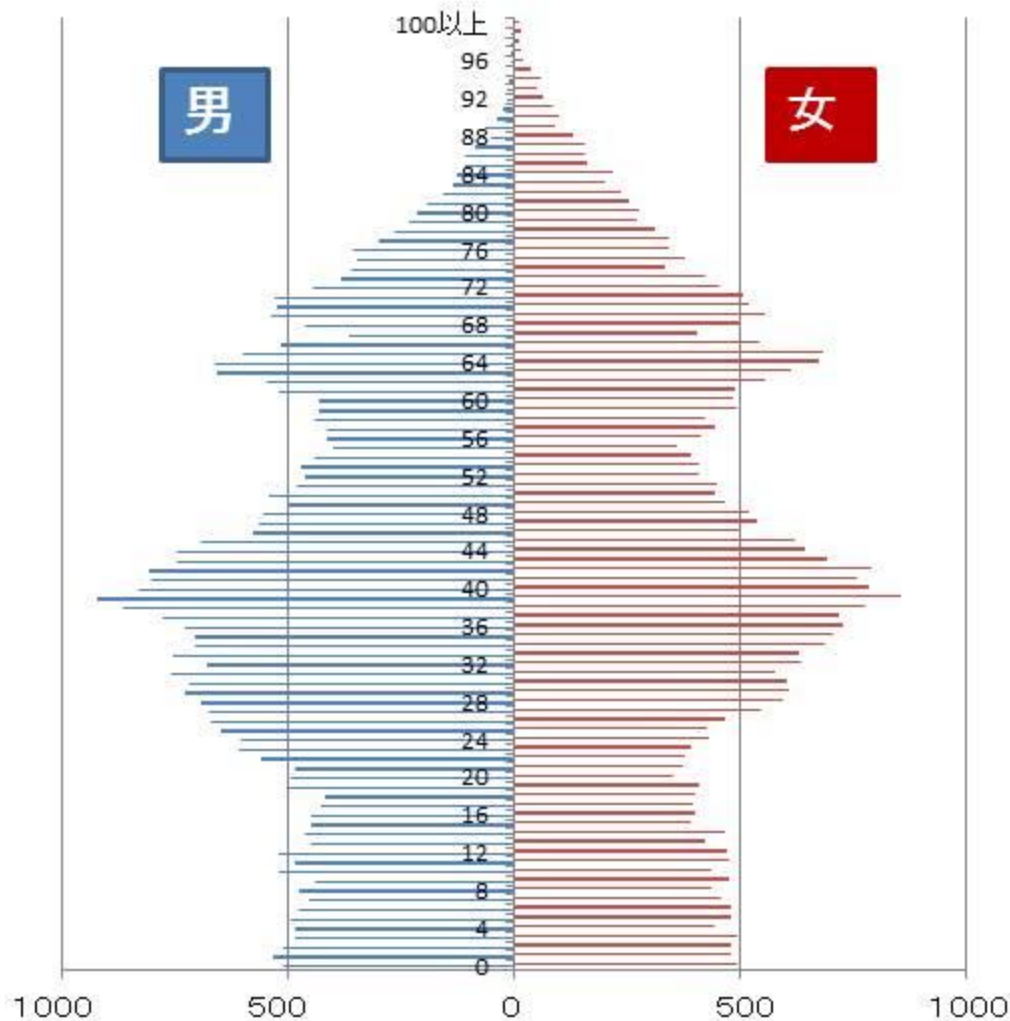
大府市

Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」

# 1. 大府市の人口ピラミッド

平成25年4月1日現在

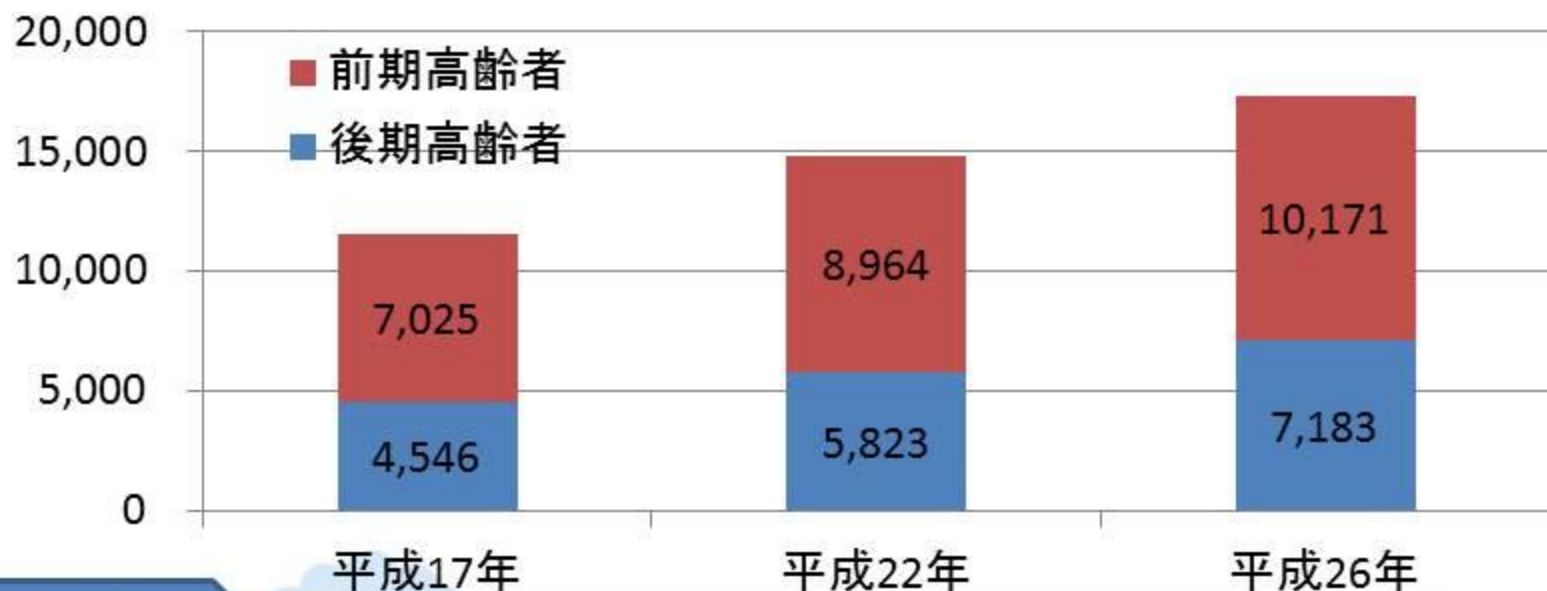


1. 団塊の世代よりも団塊Jr. の方が多い。

2. 2025年よりもその後の2050年に更なるピークの到来が予想される。

3. 2050年には下支えとなる世代の人口が少ないため、より強固な体制が必要となる。

## 2. 高齢者人口の推移



高齢者人口に対する  
後期高齢者の割合

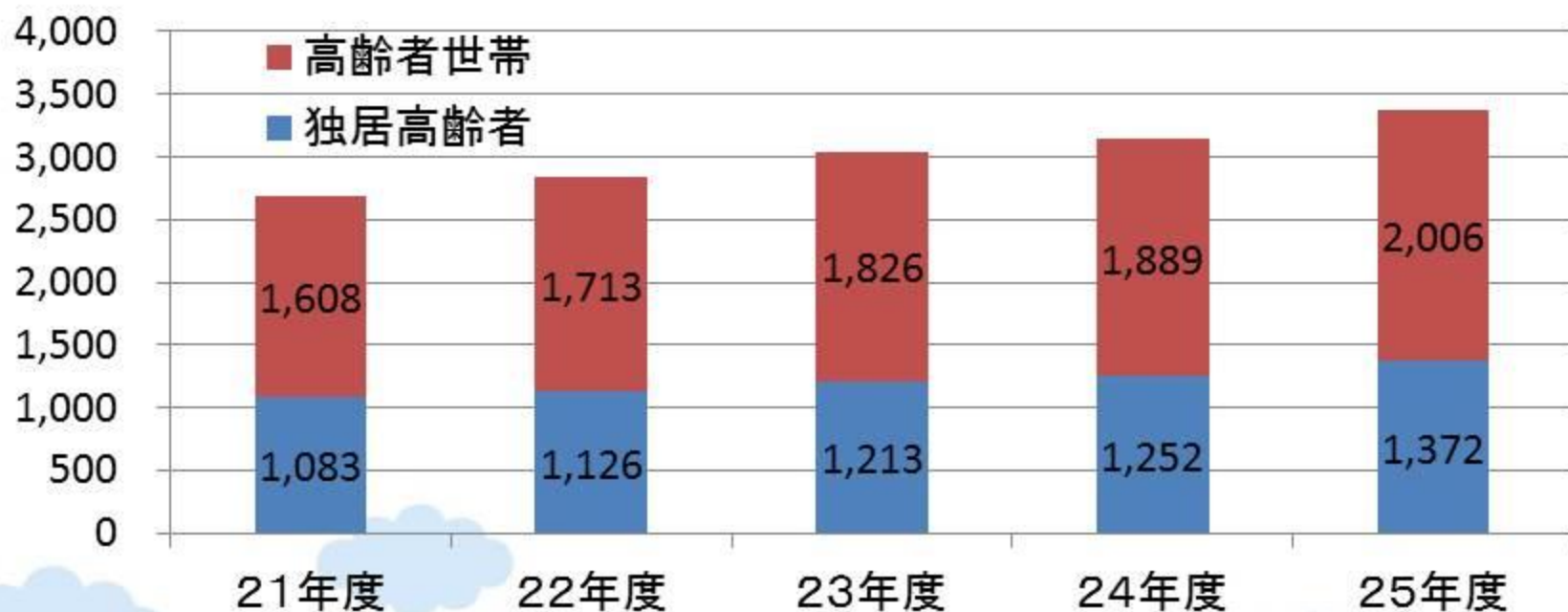
39.2%

39.3%

41.4%



# 3. 独居・高齢者世帯数



高齢者人口に対する独居の割合

7.61%

7.61%

8.01%

7.99%

8.31%



# 4. 市内医療・介護資源マップ



## ☆医療機関

病院・・・4  
医科診療所・・・45  
歯科診療所・・・38  
薬局(薬剤師会加盟)・・・20

## ☆介護事業所(定員人)

居宅介護支援事業所・・・28  
訪問介護事業所・・・15  
通所リハビリテーション・・・3  
通所介護事業所・・・22  
短期入所生活介護・・・5  
短期入所療養介護・・・1  
認知症対応型通所介護・・・1  
認知症対応型グループホーム・・・6  
小規模多機能型居宅介護・・・1  
介護老人福祉施設入所者生活介護・・・1  
特定施設入居者生活介護・・・1  
介護老人福祉施設・・・3(330)  
介護老人保健施設・・・1(100)  
介護療養型医療施設・・・1(32)

## 5. 大府市のまちの特徴

- (1) 高齢化率は県よりも低いですが、高齢者数は増えている。  
その中でも**後期高齢者の割合が徐々に増えている。**
- (2) **市民病院がない。**国立長寿医療研究センター始め、市外近隣の刈谷  
豊田総合病院、藤田保健衛生大学病院、東海市民病院、南生協病院  
等に受診している。
- (3) 国立長寿医療研究センター、認知症介護研究・研修大府センター、  
あいち健康プラザ、あいち小児保健医療総合センター等の世界有数の  
健康・医療・福祉・介護等の関連の地域資源が集積した  
**ウェルネスバレーがある。**





## 6. 大府市の在宅医療介護状況

- (1) 知多北部広域連合(大府市・東海市・知多市・東浦町)が介護保険者である。
- (2) 知多北部広域連合内で居宅支援事業所数、介護老人福祉施設の定員数:1位
- (3) 在宅療養支援診療所が少ない。
- (4) 居宅サービス受給者に比べ、施設サービス受給者数が高い。
- (5) 居宅サービス受給者は訪問型サービスより通所サービスの割合が高い。







# 8. 活動の25年度ロードマップ

項目	事業名	25年度		
		1月	2月	3月
1 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	在宅医療介護連携拠点推事業準備会議(代表者 9団体)	23日	20日	13日
	地域医療連携研究会	14日		
	地域包括ケアシステム構築支援事業(社会福祉協議会主催 市補助事業)		1日 23日	11日 23日
	認知症地域支援ネットワーク検討会議		24日	
2 在宅医療従事者の負担軽減の支援	元気な高齢社会を目指す検討会議(8団体)		5日	10日
	関係機関のアンケート調査の内容検討		アンケート収集	アンケート案作成
	在宅看護事業所訪問	6日	3日 10日	
	医師例会において役員等の調整選出	28日		
	歯科医師例会において事業説明と協力依頼、委員の選出			12日
	薬剤師会例会において事業説明と協力依頼、委員の選出			26日
	定期巡回・随時対応型訪問介護事業所申請支援	17日		
3 効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	大府健康長寿サポート会議に参加	16日	19日	18日
	知多郡医師会主催の医療・介護・福祉の連携強化に関する学術講演会に、在宅医療介護関連職員を勧奨し、事務局も参加して、電子@連絡帳の学習	25日		
	地域医療ネットワーク(Human Bridge)について学習		25日	
	在宅医療・介護チーム情報共有研究会	30日		
4 入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取り組み	長寿医療研究センターへの訪問打合せ		10日	
5 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	市民公開講座(長寿医療研究センター在宅連携医療科主催)「自宅で大往生～「ええ人生やった」というために」後援とPR協力、当日参加		22日	

# 9. 活動の26年度ロードマップ

項目	事業名	26年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	在宅医療・介護連携推進会議(代表者)	14日	28日		31日			9日	20日		29日		
	24時間体制WG		22日	→									
	情報共有(ICT含む)WG		22日	→									
	認知症対応WG		22日	→									
	全体会議・多職種連携研修会		8日(木) 17日(土)				全体会議			全体会議		全体会議	
2 在宅医療従事者の負担軽減の支援	関係機関のアンケート調査	発送	回答	集計	分析	まとめ	まとめ	まとめ 完成				再調査	
	24時間対応の在宅医療看護介護体制の情報収集と設立への支援						認可		開所				
3 効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	多職種連携による地域ケア会議の開催	○ 会議	○ 会議	○ 会議	○ 会議		○ 会議	○ 会議	○ 会議		○ 会議	○ 会議	○ 会議
	職種別研修会 介護支援専門員、訪問看護等		16日 ケアマ		○		○						
	在宅医療に従事する研修会について関係機関に情報提供し、参加を促す。	→											
4 入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取組み	長寿医療研究センターとの連携関係、地域医療連携室との連絡・連携		○ 連絡		○ 連絡		○ 連絡		○ 連絡		○ 連絡		○ 連絡
5 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	在宅医療に関するフォーラム	ホスター チラシPR	13日				企画	講師依頼	集約企画	チラシ 完成	PR		開催
	パンフレット等市民版					企画	業者選定					完成	
	パンフレット等関係者版						企画	業者選定				完成	関係機関 への配布

# 10. 指定事業の分類

項目	事業名
1 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	在宅医療・介護連携推進会議(代表者) 課題別ワーキンググループ ○24時間体制ワーキング ○情報共有(ICT含む)ワーキング ○認知症対応ワーキング 地域医療連携研究会との連携
2 在宅医療従事者の負担軽減の支援	関係機関のアンケート調査 24時間対応の在宅医療看護介護体制の情報収集と設立への支援
3 効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	多職種連携による地域ケア会議の開催 職種別研修会の開催 居宅介護支援専門員、訪問看護師等 在宅医療に従事する研修会について関係機関に情報提供し、 参加を促す。
4 入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取組み	長寿医療研究センターとの支援病棟 近隣の総合病院等の地域医療連携室との連絡・連携
5 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	在宅医療に関するフォーラム パンフレット等市民版 パンフレット等関係者版

# 11. 25年度の活動評価

## ○できたこと

- ・準備会議を3回開催
  - ⇒在宅医療・介護連携推進会議(代表者)  
課題別WGへ ☆24時間体制WG  
☆情報共有WG  
☆認知症対応WG
- ・関係機関へのあいさつ
  - ⇒ミニ勉強会
- ・現状把握アンケートの準備
- ・長寿医療研究センターとの連携
- ・市民公開講座の後援
- ・庁内関係会議への参加
- ・認知所地域支援ネットワーク  
検討会議の開催



わかったこと  
どの機関、どの職種にも  
温度差あり！



# 12. 事業の評価指標

評価指標	26年12月	26年4月現在	27年3月
在宅医療・介護連携推進会議 準備会議(代表者会議)開催回数	0回(準備のみ)	3回(準備会議) + 1回(代表 者会議) = 4回	代表者会議9回
在宅医療介護連携推進会議全体会 の参加人数	会議なし	3月23日 地域支え合い体制づくりにつ いて考える研修会の参加人数 70人	年度最後の会議の参加人数 100人
居宅療養管理指導を月4人以上行う 医師(医療機関)数	2	2	4
24時間対応する訪問看護事業所数	3か所	3か所	4か所
24時間対応 定期巡回・随時対応 訪問介護看護事業所数	0か所	0か所	1か所
上記指定ではないが、24時間対応 可能な訪問介護事業所	1か所	1か所	4か所
在宅療養支援診療所数(県医師会あ いち在宅医療ネットより)	4医療機関	4医療機関	増加
訪問看護実施数(事業所の実績報告)	未把握	現在アンケート実施中	増加
市民意識調査(65歳以上)在宅医 療の満足度	未実施	26年度途中で調査予定	上昇
市民向けラムフォーラム、講演会数	0回	1回	3回

# 13. 27年3月のビジョン


- ◆市民が在宅医療を身近に感じることができる  
在宅医療に関心を持つ人の増加  
終を含め在宅生活を、自分で選べるまち
- ◆関係機関が在宅医療を通して、顔みえる関係となる。  
在宅支援診療医師、歯科医師、薬剤師数の増加  
24時間体制の訪問看護事業所の増加  
24時間体制の訪問介護事業所の増加
- ◆15か月以降も継続していける体制ができている。



# 14. 10年後のビジョン

## 「幸齢社会の実現」

～誰もが大阪府で暮らして、幸せを実感できるまち～

- 
- ◆在宅医療があたりまえのまち
  - ◆エンディングは自分で決めることができるまち
  - ◆子どもから大人まで、誰もがかかりつけ医を持つまち
  - ◆認知症・介護を予防できるまち
  - ◆住み慣れた地域で暮らしていけるまち





# 15. まとめ

27年度以降も継続して、  
みんなで、市民を支える  
在宅医療介護をめざして  
います。



# 16. 補足



## ①市民公開講座「元気な幸齢社会を迎えるために」

講演「いかに生きるか」 講師 前千葉大学学長齋藤康氏

トークセッション「健康長寿時代の終を考える」

講師 国立長寿医療研究センター名誉総長:大島伸一氏 同研究所長:鈴木隆雄氏

日時:5月13日(火)13時半～15時半 場所:市役所地下多目的ホール

## ②全体会議・多職種連携研修会

講演「在宅医療連携拠点推進事業とは～大府市の在宅医療の課題～」

講師:長寿医療研究センター在宅連携医療部長:三浦久幸氏

グループワーク「在宅医療介護の現場をお互いに理解しましょう」

日時:5月8日(木)13時30分～15時30分 場所:多目的ホール

日時:5月17日(土)16時～18時 場所:地下001～002会議室

